

7月28日は、「日本肝炎デー」です！ 今年の肝臓週間は、7月28日(月)～8月3日(日)です。

我が国の肝炎ウイルス感染者は、B型・C型合わせて220万人から340万人存在すると推定され、「国内最大級の感染症」とわれています。

このウイルス性肝炎の総合対策を円滑に進めるためには、「一人でも多くの県民の皆様が、肝炎をよく知り、肝炎に向き合って克服を目指すこと」が重要です。

また、県民の皆様一人ひとりが、肝炎に対する正しい知識や予防意識等を持っていただき、病気や治療の大変さなど肝炎に対する正しい理解を得ることが、肝炎患者等に対する偏見や差別の解消につながります。



肝炎総合対策のマスコット

日本肝炎デー 世界保健機関(WHO)は、2010年(平成22年)に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者への差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を「世界肝炎デー」と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

我が国でも2012年(平成24年)から7月28日を「日本肝炎デー」と定め、肝炎についての正しい理解のために普及啓発を行うとともに、肝炎検査の受診勧奨の推進に取り組んでいます。

肝臓週間 毎年、「日本肝炎デー」を含む一週間を「肝臓週間」として、肝炎の予防、病気や治療に関する正しい理解のための普及啓発や情報提供を積極的に行っています。

性的少数者と人権

人間の性的指向には、いろいろな形があります。

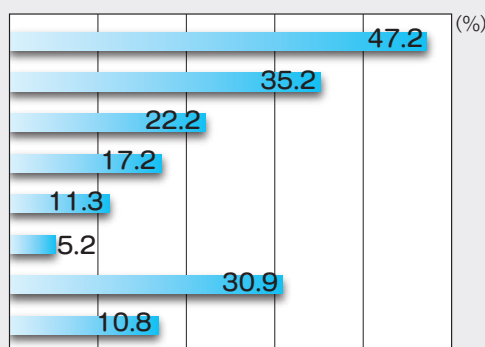
異性を愛する人だけでなく、同性愛や両性愛の人もあります。

また、性の自己認識「こころの性」と生物学的な性「からだの性」が違ふと感じてさまざまな葛藤が生じる性同一性障害の人もあります。

ある人を性的少数者であるという理由で差別したり、排除したりすることなく、それぞれの人の生き方を尊重することが大切です。
(公益財団法人人権教育啓発推進センターパンフレットより)

Q 性同一性障害者及び性的指向に関する人権上の問題で、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか(複数回答)

- 性同一性障害、性的指向に対する理解がないこと
- 偏見により差別的な言動を受けること
- 職場、学校において、嫌がらせをされること
- 就職や職場で不利な扱いを受けること
- じろじろ見たり、避けたりすること
- アパートなどの住宅への入居を拒否されること
- わからない
- その他・特にない・不明



※人権に関する県民の意識調査(平成24年度実施)より

